

人間ドック・健康診断での検査結果の見方について③

| 検査項目 | | 基準値(参考値) | | 備考 |
|------|----------------|------------|-------|---|
| 表示 | 項目名 | 数値 | 単位 | (検査の意味) |
| 膵機能 | 総アミラーゼ | 40-126 | U/L | 膵、唾液腺の消化酵素の一種です。膵炎など膵疾患、唾液腺疾患などで高くなります。膵炎は、アルコールをたくさん飲んで いる方がかかりやすい病気です。 |
| | 膵アミラーゼ | 20-65 | U/L | 膵からでる消化酵素で、膵炎、膵のうほう、膵がんなどで高くなります。膵疾患を発見する手がかりとなります。 |
| 糖尿病 | 空腹時血糖 | 80-99 | mg/dL | 空腹時の血液中のブドウ糖の数値（血糖値）を調べ、糖尿病をチェックします。 |
| | HbA1c | 5.5以下 | % | ブドウ糖とヘモグロビンが結合したもので、過去1～2か月の平均的な血糖値の状態を反映します。 |
| | 尿糖 | (-) | | 尿の中に糖が出ているかを調べ、糖尿病を見つける指標のひとつです。陽性では、糖尿病や膵炎、甲状腺の機能障害などの疑いがあります。 |
| 脂質 | 総コレステロール | 140-199 | mg/dL | 動脈硬化や虚血性心臓疾患の診断、経過観察に有用です。 |
| | 中性脂肪 | 30-149 | mg/dL | 体内の脂肪の主な成分で、エネルギーとして利用され、余った分は皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられます。肥満、食べ過ぎ、飲みすぎで数値は上昇し、動脈硬化や脂肪肝の原因になります。 |
| | HDL-コレステロール | 40以上 | mg/dL | 血管内に付着する脂肪分を取り除き、動脈硬化を防ぐことから「善玉コレステロール」と言われています。数値が低いと、心筋梗塞や脳梗塞などの病気を誘発してしまいます。 |
| | LDL-コレステロール | 60-119 | mg/dL | 高い数値は、動脈硬化の原因となり心筋梗塞や脳梗塞などの病気を誘発し、「悪玉コレステロール」と言われています。脂や脂肪分が多い食生活の欧米化の影響で、数値の高い人が増加しています。 |
| | non-HDLコレステロール | 90-149 | mg/dL | 高い数値は、動脈硬化の原因となり心筋梗塞や脳梗塞などの病気を誘発します。脂や脂肪分が多い食生活の欧米化の影響で、数値の高い人が増加しています。 |
| 肺機能 | %肺活量 | 80以上 | % | 肺の大きさや肺の働きを調べる検査です。肺線維症、肺気腫、慢性気管支炎などで低下します。 |
| | %1秒量 | %1秒量80以上かつ | % | |
| | 1秒率 | 1秒率70以上 | % | |